

卷頭言



1900年代初頭に始まった近代工業の発展にとって、蒸気力の利用、すなわち

種々の対策を施す必要があります。すなわち、鋼組成の厳密な制御、有害不純元素や非金属介在物の徹底した減少、大型鋼塊での偏析の軽減、結晶粒度の微細化、析出物の利用、そして望ましい微視組織の形成などであります。

また、製造工程においては、原材料の選別に始まり、製鋼、洗淨と熱処理を経て

一連の製造工程について、厳格な管理、検査体制が確立されねばなりません。

さらにまた、製品の品質保証に関連して、大型破壊試験を含む一連の靱性評

定試験は、製品の品質保証に不可欠な要素として、製造工程に組み込まれるべき